

令和 8 年 1 月 9 日 提出

議会案第 1 号

J リーグスタジアム建設に関する意見書

八戸市議会議長 藤 川 優 里 様

提出者	八戸市議会議員	日 當 正 男
〃	〃	石 橋 充 志
〃	〃	田名部 裕 美
〃	〃	高 橋 正 人
〃	〃	間 盛 仁
〃	〃	久 保 百 恵
〃	〃	三 浦 博 司
〃	〃	岡 田 英
〃	〃	小屋敷 孝
〃	〃	壬 生 八十博
〃	〃	上 条 幸 哉
〃	〃	伊 藤 圓 子

上記の議案を別紙のとおり会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により提出
します。

Jリーグスタジアム建設に関する意見書

八戸市におけるプロスポーツの発展は、地域経済の活性化、交流人口の拡大、次世代育成、そして市民の誇りの醸成に大きく寄与してきた。特に、サッカーをはじめとする地域スポーツの振興は、八戸市の未来を支える重要な基盤である。

現在、八戸市では、Jリーグ基準を満たすスタジアムの整備が喫緊の課題となっている。市内外からは6万筆を超える署名が寄せられ、スタジアム建設を求める声はかつてない規模で高まっている。これは単なる施設整備の要望ではなく、地域の将来像を共有し、八戸市の新たな成長の象徴をつくることへの強い期待の表れである。

さらに、ヴァンラーレ八戸のホームタウンは、八戸市を中心に十和田市、三戸町、五戸町、階上町、南部町、おいらせ町、田子町、新郷村、三沢市、七戸町、六戸町、東北町、野辺地町、横浜町、六ヶ所村の16市町村に広がっており、スタジアム整備はこれら広域自治体にとっても共通の願いである。スタジアムは単なる市単独の施設ではなく、三八上北地域全体の共有資産としての役割を担うものである。

また、八戸市は北東北の交通結節点としての地理的優位性を有し、スタジアム整備は観光、宿泊、飲食、交通など多方面にわたり大きな経済波及効果をもたらすことが期待される。広域からの来訪者増加や地域ブランド力の向上など、地域全体の活力向上に資する効果は極めて大きい。

よって青森県においては、八戸市におけるJリーグ基準スタジアムの早期整備に向け、財政的支援を含む積極的な支援を行うことを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年1月9日

八 戸 市 議 会